

# 2016/10/23JMMA東海大会アンケートまとめ

(回答者63人)

## 10代

- ・高校年代での怪我を予防することはとても重要なことだと思うので、専門的な知識を持ったメディカルチェックを受けることが大切だと思いたい。
- ・ケガの防止のためのケアはとても大切だと思うので日々取り組んでいきたい。  
また、どうしてそのようなケガになったかなど原因が分かれば対策ができると思うのでもっと身体に気を配りたい。
- ・色々な部位のストレッチをすることでケガの予防やパフォーマンスの向上につながると思うので、ケガの予防のため足首などの筋力もつけようと思いました。(16歳男性)
- ・選手として、ケガ防止のためにすべきことを理解することができたので、これから活用していきたいチーム内で広めていきたいです。(16歳男性)
- ・話を聞いて、とてもためになりました。  
自分もケガが多いので、今日学んだことを活かしていきたいです。(16歳男性)
- ・一次予防…病気になるのを防ぐ  
二次予防…早期発見  
私は股関節や足首をよくケガをするので、ストレッチを入念にして体のケアをしたいと思った。(16歳男性)
- ・ケガの防止やケガの前の話が多かったが、選手としては接触によるケガも多いので、ケガと付き合っていく必要があると思う。
- ・専門用語が多かったですが、ためになるお話ばかりだったので、チームメイトにも教えていきたい。
- ・私は、大学の部活動で、女子サッカー一部の学生トレーナーをしています。  
今回お話を聞いて、メディカルチェックの大切さを実感しました。  
素人の私ではできないことの方が多いですが、選手が万全の状態プレーできるよう、できることをしていきたいです。

## 20代

- ・大学で学生トレーナーとして部活動に関わっているのですが、自分が考えていたメディカルチェックの重要性が改めてわかりました。また傷害予防に役立てられるよう実施してみたいと思いました。(20歳女性)
- ・やり方の統一と共有の仕方があればと思います。(20歳男性)
- ・女子サッカー選手の話もあって個人的にすごく興味を持ったし、おもしろかった。  
男子サッカーに比べてまだまだ女子サッカーに関してデータがないので女子サッカーも研究したい。今後のデータが非常に楽しみです。(22歳女性)
- ・外来として現在患者様のリハビリをしています。  
外来は痛みを引き起こしているため、我々は痛みに対し所見をとり、プログラムをたてています。  
今日の講演で、障害予防の実態とういうことで詳しく知り勉強になった。  
また、その中でも動的アラウメントの評価を自分が知らないことも知ることができた。  
今後もリハビリをしていくにあたり、なぜここが痛くなったのかということにこだわって、再発しないようにしていきたい。
- ・小学生に対するメディカルサポートなどの機会があればお願いしたいです。(22歳男性)
- ・メディカルチェックという限られた時間内に行わなければいけない中で年代の違う人を相手に活動  
僕自身はPTとして働いていますが、評価法やアラウメントの見方はとても勉強になりました。  
メディカルチェックは行って終わりではなく、その後の選手たちの障害予防やパフォーマンス向上に繋がるといいなと思います。
- ・メディカルマネージャー制度の話があってから各シンポジウムメディカルチェックの話の流れが、医療者向けの話が多く、学生(高校生)、指導者の方は理解しがたい部分があったと思います。(22歳女性)
- ・各々のメディカルチェックをどのようにやっているか非常にわかりやすく勉強になりました。  
次回の開催を期待しております。

ぜひ次回はスポーツ障害に対する考え方、治療介入などについてお聞きしたいです。(23歳男性)

- ・様々な先生が講演されましたが、やはり評価のところで一貫性がないと感じました。評価のやり方など少しでもマニュアル化などすると比較などできるのではないかと思います。(23歳男性)
- ・どの年代においてもメディカルチェックの項目はほぼ同じものであり、それだけ大事な要素なのだと興味深い内容であったと思います。会場の配置としてはもう少しゆとりがあっても良かったのではないかと思います。(23歳男性)
- ・高校サッカー部マネージャーの経験があったので、中京大中京や刈谷高校の様子を伺って非常に10年前とは違うなと思いました。このような機会があれば今後もぜひ参加したいです。(26歳女性)
- ・とても貴重な話をありがとうございました。愛知県のサッカーが向上していくようにやれることをやっていきたいと思っています。また次回も参加したいと思います。よろしくお願いします。(26歳男性)
- ・非常に興味深い内容ばかりでした。各年代や性別におけるメディカルチェックを知る良い機会になりました。(27歳男性)
- ・育年代から傷害予防を考えていくことは大切だと感じた。MMはチームに対して導入するには、チームのスケジュールや学校行事などもあるなど、チーム
- ・また機会がありましたら参加したいです。(27歳女性)
- ・メディカルマネージャーの制度について知りたかったが、その説明が最後であり、先の三時間半の指導者に多く来てほしかったとのことであるが、そうであれば、抗議の順番は変えた方がよいと感じ。取り組み自体には大変興味ある内容であった。どこまで根付かせるかという点で指導者への展開。指導者向けなら指導者向けの講習を別に行ってはどうか。日曜日の午後とはいえ多くの指導者は参加の難しい日程であった。(27歳男性)
- ・みなさん、同じような内容が多かったのも、先生によって、項目を分けて発表してもらえるとわかり
- ・メディカルマネージャー制度については非常に有効だと考えます。週に1~2回しかチームに帯同できない医療従事者にとっては、日々の選手状態を把握できたり
- ・本日は大変勉強になりました。ありがとうございました。現場の声を前もって収集しておき、それについての回答をしていただくという形式もあるとありがたい。医療関係ではないものですが、わかりやすくお話していただきありがとうございました。次回のMM東海大会も是非参加したいです。(29歳男性)

### 30代

- ・医療従事者・Dr・PT・ATにはよく理解でき、興味深く、聞くことができたが、指導者・一般の方には
- ・各年代の取り組みや先生方が各々考えられている課題がとても興味深かったです。ありがとうございます。
- ・指導者にももう少し来てもらえる様に工夫があるといいと思う。アットホームな雰囲気よかった。(34歳男性)
- ・各世代ごとの発表があり、とても参考になりました。次回も参加させていただきます。(32歳男性) 職種の垣根を越えた会で様々な視点からの意見が聞けて良かったです。
- ・あと、お互いの認識の確認と活動を知ることができました。ありがとうございました。(39歳女性) 色々な世代で行われているメディカルチェックについて現場で活躍されている先生方のお話は大き
- ・日本メディカルマネージャー協会の方々がどのような取り組みを行っているのか、将来的にどのよう
- ・取り組みの概要をつかむことができました。一方で、色々と課題もあり、今後発展していく(発展さ
- ・今回シンポジウムで発表があった演題は、中学生以上が対象となっていました。それ以前の小

成長期のスポーツ障害は小学生期から起こるもので、そのころからの予防事業の必要性を感じて今後、小学生に対しての活動など、情報があると嬉しいです。  
今日は、参加させていただき、ありがとうございました。(33歳女性)

- ・メディカルチェックの重要性は理解できたが、その方法がまだ統一されておらず、有効に行えないMMIは誰でもなれるが正確に実施するのは難しいと感じた。  
監督やコーチ、保護者に理解を興味をもっていただくために一般向けの演目や広報を行った方がMM制度は浸透すれば日本のスポーツの発展に貢献できると思うので、今後の活動に期待したい
- ・予防という観点からコメディカルができることはまだまだたくさんあるのではないかと感じました。  
しかし、まだまだタイトミスと傷害の明確な因果関係等ははっきりとしないことがたくさんあるので、今
- ・チームに入りどのような評価をすればよいのか大変参考になりました。(34歳男性)
- ・メディカルマネージャーの技量、知識がとても重要になり、正確なデータ計測だけでなく、医療機関
- ・メディカルチェックの実施項目はよくわかりましたが、現場にてどのように活かしていけばよいか等
- ・内容はメディカルスタッフにおいては理解しやすく、とても勉強になりましたが、選手や指導者には
- ・子供がサッカーをしていて、ケガをすることがあった為、大切な試合に出られなかったりと、残念
- ・メディカルマネージャー制度に対し、大変共感しました。  
特に「横のつながり」が自分も大切だと感じます。  
自分も理学療法士として高校生のチームをサポートしているので、今後もこのような会があれば  
今日はありがとうございました。(35歳男性)
- ・指導者の方々にも医学、医療への理解を示していただくきっかけとして、公認指導者のリフレッシュ  
育成年代の指導の配慮が選手の環境などを大きく変えると思いますので、JFAの協力も得られる
- ・今後具体的な検査項目や方法が統一されるといいです。(32歳男性)
- ・メディカルチェックはすごく必要なことだと思います。  
特に育成年代には行った方がよいのでは。  
大学生などにはもう少し詳しくしてもいいかも。  
フィードバック(特にトレーニングのやり方をしっかり教えていただけたら)(33歳男性)
- ・これからのスポーツに携わる人がこの制度を認知し、利用することでケガの予防、パフォーマンス  
素晴らしい取り組みなので是非成功させて下さい。  
現場の意見としては、傷害につながった要因、動作を解説していただけると有効になると思います

## 40代

- ・非常に有意義な会だったと思います。専門用語が多く、現場の方々にはわかりずらかったかもしれ
- ・メディカルマネージャー制度についてももう少し具体的に理解できるように進めてほしいです。(49歳)
- ・小学生年代のフットサルクラブを指導しています。  
トレーニングや、その強度との相関性が明確になればと思い参加いたしました。  
ストレッチ等の重要性が分かりました。(45歳男性)
- ・サッカーを支える人がたくさんいるというのがわかりました。  
メディカルマネージャー制度がどのスポーツ団体にも存在し、少しでもケガの予防ができ、少いで
- ・AT、PTとメディカルマネージャーの関係は？(41歳男性)
- ・メディカルチェックの重要性を理解することができました。  
しかし、測定項目や測定方法をこのメディカルマネージャー制度にて統一していただくと、データを
- ・子供が、小学生のクラブチームと学校の部活動でサッカーを行っていますが、お父さんコーチや専  
まだ成長過程にあり、筋力の発達が十分でない子供達に対して、適切な指導が行われるよう、こ

今後、MM制度がもっと発展、浸透していくことを切に願います。

MM制度をすべてのチームや先生方に理解、浸透させていくことは難しいと思いますが、今後もこ

- ・メディカルチェック後のフィードバックの方法を知りたい。(44歳男性)
- ・メディカルマネージャーに参加したいと思いました。(41歳男性)
- ・とても興味深い内容でとても楽しい時間でした。  
今回のメディカルチェックとして、身体機能をメインに挙げていましたが、心電図のチェックやSPC  
どうもありがとうございました。(40歳男性)

## 50代

- ・小学生指導者としては場違いのように思えた。  
静岡県浜松市から来ました。勉強になりました。(56歳男性)

## 60代

- ・小学生年代の地域のクラブの指導をしています。  
豊岡市サッカー協会社会人連盟のホームページをたまたま見て参加しました。  
サッカー指導者にもっと参加してほしいと思いました。  
ありがとうございました。  
p.s.いろいろな方がサッカーに関わり、今日の日本サッカーの発展があったんだと改めて感激しまし  
私は私の立場で選手のためのに今日学んだことを活かしていきたいと思います。(61歳男性)
- ・勉強になりました。  
AT(トレーナー)とメディカルマネージャーの違いは？(61歳男性)

## ?

- ・トレーナー発表の内容が重複しており、時間的に長く感じた。(男性)
- ・シンポジウムのスライド内容が医療関係者以外には難しいと思います。(専門用語など)(男性)
- ・メディカルチェックの重要性を改めて理解できた。  
メディカルマネージャー制度が確立してくるといいと思います。
- ・多くの話を聞かせていただき、自分たちもこれからは活かしていきたいです。  
ありがとうございました。

カルマネージャーの役割は非常に大きいなと思いました。(15歳男性)

について考えたいと思った。(16歳男性)

講演で改めて知ることができたので、もっとやろうと思いました。

と思いました。

3歳男性)

合いながらプレーするときに大事なことや、一度したケガを繰り返さない方法を知りたい。(17歳男性)  
と思います。(17歳男性)

を考えてサポートしていきたいと思います。(19歳女性)

くとは違う検査方法をいくつか知ることができ、とても勉強になりました。

たと聞いてうれしかった。

ように努めたい。(22歳男性)

加している様々な先生方の話を聞かせていただき、同じ内容のもので評価はしていますが、先生方  
につなげなければ意味がないため、継続することが大切だと感じました。(22歳男性)

れば、一般の方はもっとわかりやすくなったと思います。  
23歳女性)

主)

(23歳男性)

と再認識した。

に興味深く、その素晴らしい環境をうらやましく思った。

によっては練習の時間を削られるなどの不満も出てくると思うので、その辺を考えることが必要か。

くわからないままに聞くことになった。  
じる。又、内容も専門的過ぎたように感じる。  
の仕方が大事であると感じた。

やすい。(28歳男性)

、傷害が発生した際に連絡を取り合い早期に対応が可能となると思います。(28歳男性)

こいです。

かなり難しく、理解を得にくいのではないかと思いました。(30歳男性)

ざいました。(33歳女性)

変勉強になりました。

うな形を目指しているのかに興味があり、参加させていただきました。  
せるべき)取り組みだと思いました。  
い学生に対してもメディカルマネージャーの活動になるのかな?という点が気になりました。

ています。

のではないかと感じた。

いいのでは。  
い。(32歳男性)

後取り組むべき課題も多々あると感じました。(30歳男性)

目への受診をすすめる際の線引きは特に難しいと思います。(34歳男性)

がもう少し伺えたらよかったと思います。(31歳女性)

少し難しいのではないかと印象を持ちました。(36歳女性)  
な時があたので、ケガの予防のメディカルチェックが多くのチームに普及することが実現したら、選

参加してみたいと思います。

研修の対象に指定されるといいのではないかと思います。  
る事業であれば、検討をお願い申し上げたいと思います。(33歳男性)

向上につながることを期待しています。

ず。(34歳男性)

れないと思いました。(40歳女性)

歳男性)

も早くケガから復帰でき、そして生涯スポーツとして続けていける助けができるのが理想かと思いま

共有できるのではないのでしょうか。(43歳男性)

専門の知識の少ない先生の指導によってオーバーユースになり、ケガに悩んでいる子供たちがとて  
のようなメディカルチェックの有用性や知識をもっとコーチや部活を指導する先生方にも広げていく!

このような講座をもっと行っていただけるといいと思いました。(43歳女性 保護者・看護師)

12)などの変化が体に与える影響、突然死など幅広い話が今後聞くことができればいいと思いました

た。  
1

生)

それぞれの解釈や想いを持たれていてとても面白かったです。

(27歲男性)

手にとってもとてもいいことだと思いました。(38歳女性)

す。(40代男性)

も多いように感じます。  
必要があると思いました。

